



未来の災害ボランティア

災害救援

災害救援車両試乗体験

震災3周年復興祈念式典・合同追悼式・・・2～3
震災復興祈念行事・・・4～7
小千谷市地域防災計画の見直し・・・8～9
市展・総合文化展入賞者と作品の紹介・・・10～11

健康福祉まつり・・・12
牛の角突き復興シンボルの愛称決定・・・13
お知らせ（健康）・・・18～19
お知らせ・・・20～23

あの日から3年 復興を誓う 小千谷市長 谷井 靖夫



小千谷市復興記念式典であいさつする谷井市長

小千谷市をはじめとする中越地方で尊い人命を奪い、多くの市民が避難生活を余儀なくされ、甚大な被害をもたらした、あの中越大震災から3年が経ちました。

震災直後からこれまで、市民一人ひとりのご努力と全国から物心両面にわたる心温まるご支援をいただき、未曾有の大災害を乗り越え、着実に復旧の道をたどることができましたことに、心から感謝申し上げます。

まだ一部の地域で復旧工事が続いておりませんが、道路やガス水道、下水道などのライフラインや、学校を始めとした各公共施設などの災害復旧事業は、ほぼ目処をつけることができました。

平成17年5月末に最大684世帯、2328人が入居され、市内17箇所建設されました仮設住宅も、10月末日をもって全ての入居者が生活再建し退去されましたので、撤去する運びとなりました。

この震災により、失ったものも多く心に深い傷を残しましたが、私たちは改めて人と人との絆、地域コミュニティの重要性を強く感じたところであります。

一方、震災をバネといたしまして、今まで支援いただいた全国の皆様へ小千谷

市の推奨品と地域情報を発信し、今後とも小千谷と交流していただき、復興のまち「おぢや」を実現するため「おぢやファンクラブ」が設置されました。

また、近年多くの地域で大規模な地震が発生しておりますが、私たちは中越大震災で経験した教訓を今後のために役立て、さらなる防災のネットワークを広げるため、「中越大震災ネットワークおぢや」を立ち上げたところであります。

震災から3年の節目を迎え、10月23日の復興記念式典をはじめ、市内各所において市民の皆様をはじめ多くの団体の方々による、震災からの復旧と今後の確かな復興を祈念する行事・イベントが実施され、大勢の方にご参加いただいた事にも感謝申し上げます。

市民一人ひとり、被災の状況や復旧の進捗も異なりますが、復興への願いは皆さん共通していると思います。震災3年を契機といたしまして、確かな復興と更なる小千谷市発展に向け、皆さんと共に取り組んで参りますので、今後とも変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

新潟県中越大地震災小千谷市復興祈念式典



新潟県中越大地震から3年目の10月23日(火) 市民会館において、小千谷市復興祈念式典が開催されました。式典には、これまで支援をいただいた県外の自治体や自衛隊の代表などをお招きし、ご遺族、町内会の代表、一般市民など約260人が参加しました。式典では、地震の起きた午後5時56分に全員で黙とうを捧げました。

また、震災時に、当市に長期間職員を派遣いただいたなど特に大きな支援をいただいた東京都杉並区、福島県北塩原村に、感謝状と記念品を贈り感謝の意を表しました。

復興状況の発表では、青年会議所が作成したスライド「復興へのあゆみ」が上映され、これまで3年間の復興に向かう当市のあゆみが映像で伝えられました。

式典終了後、重川希志依さん(富士常葉大学大学院教授)を講師に、「中越大地震」能登半島地震「中越沖地震」小千谷市の経験は教訓として活かされているか」と題して防災講演会が行われました。



参加者による黙とうが行われました



支援をいただいた自治体に感謝状をお渡ししました



防災講演会で講演する講師の重川希志依さん

新潟県中越大地震災合同追悼式

10月23日(火)、中越大地震で被災した、県と7市町などによる合同追悼式が、ご遺族、関係者が参列し、長岡市立劇場で開催されました。式では、震災の犠牲となられた方々に追悼の言葉や黙とう・献花が捧げられました。

式には、市内の全小学校から代表の児童が参加し、市外の児童とともに復興メッセージの発表や合唱を行いました。

また、参加した市と町に祭壇の灯火を持ち帰る「灯火のりれい」があり、持ち帰った灯火は、当市でこの日の夜に行われた「結びの灯」の灯ろうに引き継がれました。



ご遺族のみなさんによる献花



児童によるメッセージ発表



児童のみなさんによる合唱



灯火のりれい

震災復興イベント

市内で行われた震災関連行事や出来事などを追ってみました



市民を代表し谷井市長が感謝状を渡しました。



小千谷中学校吹奏楽部と自衛隊音楽隊による合同演奏



炊き出しサービスには大勢の人が列をつくっていました。

自衛隊さんありがとう
小千谷ロータリークラブ
震災復興記念行事

10月8日(祝)総合体育館
震災時に助けていただいた自衛隊のみなさんに感謝の気持ちを込めて感謝状と記念品をお贈りしました。
会場では相馬原駐屯地第12音楽隊と小千谷中学校吹奏楽部による合同演奏会や、自衛隊、ポランティアスタッフによる炊き出しサービス、震災時の写真パネル展示なども行われました。

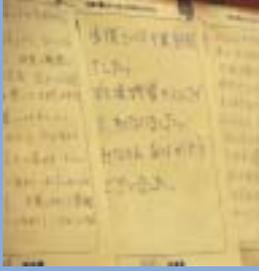
4万人からのメッセージ

10月23日(火)本町郵便局前ほか

「震災時には伝えられなかった思いを今メッセージに」と始められたこのイベントには約4000通のメッセージが寄せられました。この日は午後5時56分の黙とうのあと、リリースメッセージが行われ、寄せられたメッセージの一部が読み上げられました。

イベントの最後に

は会場に集まったみなさんと手をつなぎ、空へ向かって大きな声で「ありがとう」と感謝の思いを叫びました。



メッセージからメッセージヘリレーでつなげます



震災復興祈念

第12回小千谷うまいもの祭

10月7日(日)本町2丁目歩行者天国

会場ではさまざまなテント市や出店が並び、大賑わいでした。ステージではイベントや沖縄民謡ポップスバンドなどの催しが行われ、集まった人を楽しませていました。



夜空へ向かって「ありがとう！」



子どもたちもメッセージを読み上げました



音楽の花束 1000日目の節目に寄せて
～復興記念メモリアルコンサート～

10月6日(土)市民会館

長谷川紘一さんによる名器「ガスパロ・ダ・サロ」(ヴァイオリン)と堤奈緒さんによるピアノ演奏。市内音楽団体の出演や千田中学校での演奏も行われました。

泉田県知事が献花と復興懇談会

10月23日(火)塩谷地内

泉田県知事が塩谷の慰霊塔に献花し、地域のみなさんと懇談会を開きました。

お茶の間お別れ会

10月15日(月)・17日(水)・19日(金)

元中子、千谷川、千谷それぞれの仮設住宅の集会所などでお別れ会がありました。

中越大震災関係資料展示

10月20日(土)～31日(水)図書館

これまでに収集した数多くの震災関連資料を展示しました。

杉並区に新米を贈呈

10月30日(火)

震災直後から支援をいただいた杉並区に感謝を込めて新米を贈りました。





結びの灯

10月23日(火)小千谷駅～本町～平成～市民会館

みなさんの思いが描かれた約5,500個の灯ろうが『ふるさとおぢや』の復興を照らしました。信濃川河川敷からはこの震災で亡くなった19人の方のご冥福を祈り、19発の追悼の花火も打ち上げられました。

結び

震災復興イベント 結びの灯

ともしび



「地域や家庭で災害から子どもを守るためには」
国崎信江さん(危機管理対策アドバイザー)の講演



「大規模広域災害時の医療活動 新潟県中越大震災を体験して」
横森忠紘さん(財)小千谷総合病院理事長)の講演

結びの講演会「災害から命を守る」
「自身の被災体験や防災実践を通して、さまざまな提言をいただきました。」

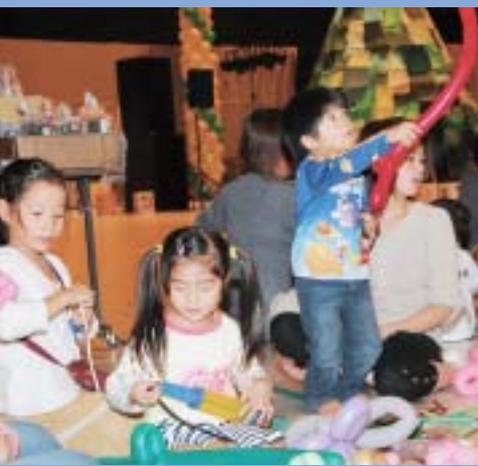
10月12日(金)市民会館



「食」の会場にも多くの人を訪れました



小千谷太鼓をはじめフラダンスやよさこいなど多彩なステージに観客は大満足でした



結びのフェスタ
10月14日(日)市民体育館
音楽と食のイベントに大勢の人が
集まりました。

子どもたちも大喜びのイベントでした



ゲストアーティスト「ハナレグミ」、「コケストラ」、泉伶奈さんの復興ライブ



結びのギャラリー
震災写真展～地球の鼓動から2～
10月15日(月)～23日(火)まちの駅
中越大震災をはじめ、災害時ボランティア活動などの写真・書籍を展示。
灯ろうの制作コーナーもありました。



慈眼寺での講演会



戊辰戦争西軍墓地を見学

結びの歴史探索
10月14日(日)
慈眼寺・船岡山・東忠
戊辰戦争の歴史を学
ぶ講演・史跡めぐり。
継之助弁当での昼食も
ありました。



昼食の継之助弁当(東忠)

災害から市民の生命・身体・財産を守る

『小千谷市地域防災計画』を見直しました

総務課防災係 83・3506

小千谷市では、平成16年7月16日に発生した豪雨水害、同年10月23日に発生した新潟県中越大地震、その後の豪雨・豪雪の際における災害対応についての検証を行い、その反省点などを踏まえ、このたび小千谷市地域防災計画の全面的な見直しを行いました。

この計画は、市民の生命・身体・財産を災害から保護することを目的としています。

災害を克服するためには、地域の一人ひとりの市民や事業所、各種団体などが日ごろから災害に備え、地域においてお互いが助け合い協力し合うことが重要な観点と考え、防災に取り組む市民・地域・各防災関係機関ごとにそれぞれの役割を明記しました。

次の6つの重点事項を踏まえ、安全で安心なまちづくりの実現に向けて、取り組みを強化していきます。

見直しの重点事項

市民、地域、防災関係機関のそれぞれの役割分担と責任の明確化

家庭・企業などの基礎的防災能力向上のための啓発活動の充実

- ・ 学校・職場・生涯学習の場で防災知識の普及を進める。
- ・ 3日分程度の飲料水・食料・生活必需品を備蓄する。
- ・ 建築物の耐震化を推奨する。
- ・ 自主防災組織の充実
- ・ 自主防災組織が行う防災訓練への支援を行うとともに、自主防災リーダーを養成する。



自治体間や事業所、各種団体、ボランティアなどの協力、支援体制の強化

自治体間の協力体制の強化と他自治体からの応援受入体制の整備

- ・ 災害時相互応援に関する協定を締結し、応援・応援受入体制を確立する。
- ・ 行政と民間との協力体制の強化
- ・ 企業・団体との災害時協力協定の締結を進める。
- ・ 小千谷市災害ボランティアセンターを設置し、災害ボランティアの受入を行う。
- ・ 避難所の運営は、市が施設管理者、町内会、自主防災組織、消防団、応援自治体職員、ボランティアなどと協力を得て行う。



孤立が予想される集落の防災力の強化

孤立予想集落との通信の確保

- ・ 孤立予想集落に対し衛星携帯電話を整備する。
- ・ 消防団車両無線を活用し、通信手段を確保する。
- ・ 孤立予想集落の住民に対する備蓄促進の推奨
- ・ 住民は、最低7日分の飲料水・食料・生活必需品を備蓄する。

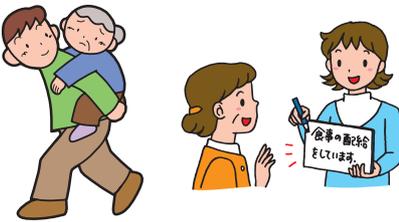
避難体制の強化と避難生活環境の改善

避難誘導体制の強化

- ・ ハザードマップを作成し、市民などへ周知する。
- ・ 市は、防災行政無線、住民組織などによる避難情報伝達体制を整備する。
- ・ 避難生活環境の改善
- ・ 避難所の秩序維持のため、「避難所運営マニュアル」を定め運営にあたる。
- ・ 男女両性の視線に立った避難所運営に努める。

災害時要援護者への対策の強化

- ・ 災害時要援護者（災害時に必要な情報の把握が困難で、自らの行動などに制約のある高齢者、障がい者などをいう）の情報を収集し、名簿を作成する。
- ・ 「避難支援プラン」を作成し、災害時要援護者の安全確保に万全を期す。
- ・ 障がい者など一般の避難所での共同生活が難しい要援護者のための福祉避難所予定施設をあらかじめ指定する。



食料・物資の供給体制の強化と質の向上

食料・物資の供給体制の強化

- ・ 市は、「市町村・新潟県の備蓄分担割合」に基づき物資などを備蓄する。
- ・ 企業・事業者団体などとの緊急調達体制を整備する。
- ・ 供給する食料・物資の質の向上
- ・ 被災後の時間経過に応じ、救援の各段階に沿った食料・物資の計画的な供給に努める。
- ・ 積雪時は、現地炊飯開始の前倒しなど早期の温食提供に努める。

その他

- ・ 不特定多数からの小口の義援物資は、仕分け、保管などに多大な労力・時間が必要となるため、被災地が支援を求めた真に必要なもの以外は原則として受け入れず、可能な限り義援金での支援を呼びかける。

計画の構成

小千谷市地域防災計画は「風水害対策編」・「震災対策編」で構成されています。両編とも次の4つの章で構成されています。

「第1章 総則」の各節では、計画策定の要旨、計画全般を通しての各機関の役割・責務、小千谷市の自然・災害記録などを記載しています。

「第2章 災害予防」の各節では、平時における市民、事業所などや市、県その他防災関係機関の災害予防に関する事項を定めています。

「第3章 災害応急対策」の各節では、災害発生時における市民、事業所などや市、県その他防災関係機関の対応、行動、連携などを定めています。

「第4章 災害復旧・復興計画」の各節では、被害を受けた市民の自力復興を促進し、早期に安定した生活を回復するための支援、相談、対策などを定めています。

計画の詳細は、市ホームページでもご覧いただけます。



市展・総合文化展入賞者の紹介

第27回小千谷市展・第41回総合文化展が11月2日(金)から4日(日)まで、市民体育館・市民会館で開催されました。審査の結果、次のみなさんが入賞されました。市展の作品の審査員の選評と市長賞の作品を紹介します。

審査員《日本画》

笹川英志雄（県展無鑑査）

《水墨画》

千葉玄象（全国平成水墨画協会会長）

《洋画・版画》

石川吉郎（新潟県美術家連盟理事）

《書道》

佐藤光堂（学会展総理大臣賞）

《写真》

北井一夫（日本写真協会新人賞）

《彫塑・工芸》

高井進（妙高焼高井陶房主宰）



日本画の部 市長賞

内山美恵子さんの作品「風」



水墨画の部 市長賞

近藤忠男さんの作品「野仏秋色」

日本画

絵は、自分を信じ、人に感動を与えるものでありたい。そのためには、特に画材を駆使しなければという難儀さと難しさがあります。汗をしばり、克服することが、よい絵を制作できると考えます。この考え方をともに審査をしました。安定感と清新な意欲作が多く、レベルの高い作品に感銘しました。賞の選定には、甲乙がつけがたく、緊張しました。

市長賞の作品

重厚で清楚・爽やかさをかもし出した作で華麗で風格を感じる。幹、葉、ヒゲの描写が生き、作者の技術の高さを物語っています。シャレた作品で力作です。

水墨画

全体的に良い作品が多く、審査では構図・黒の濃淡などに注意し審査しました。苦労しましたが、楽しく作

品を拝見しました。

市長賞の作品

作者の穏やかな人柄が伝わってくるようです。とても良い作品だと思います。

洋画・版画

充実した大作の数々にまじり倒されました。単なる趣味的な作品は姿を消し、絵が好きでたまらない人間が感性を生かし、小千谷という人間味豊かな環境の中で創作活動を続けている姿がうかがわれます。

市長賞の作品

カチンと澄みきつた空気。フリーユ、ゲルの風景を思わせる作品の前に立つとじいんと胸にこみあげてくるものがある。大自然の恵みのなかで育まれた古き建物が美しく、温かく見事な描写力で表現されている。29才という若さに驚くとともに本展の大きな収穫であると確信します。



芸術の秋を楽しむ市民でにぎわう市展会場（市民体育館）

市展入賞者（敬称略）

日本画の部

市長賞／内山美恵子（土川2）

新潟日報美術振興賞／山本令子（元町）

奨励賞／横田八ル子（平沢1）

佳作／山本久好（稲荷町）、渡部明利（城内4）

水墨画の部

市長賞／近藤忠男（木津団地）

新潟日報美術振興賞／入澤キヨシ（長岡市）

奨励賞／若井真知子（土川2）、神林義二（池津）、山本久好（稲荷町）

佳作／関泰邦（土川2）、

関和（池ヶ原）、新保正文（千谷）、南波謙一（一之町五区）、篠田千代（津山町）



洋画・版画の部 市長賞
田辺浩一さんの作品「さよなら 池ヶ原小学校」

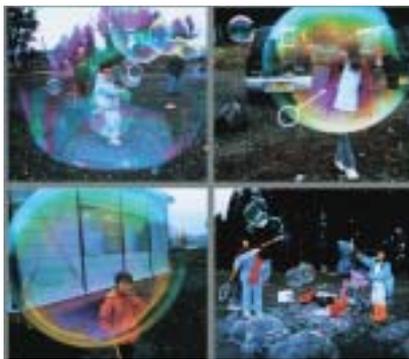


写真 市長賞
片岡慎太郎さんの作品「復興を願う」



書道の部 市長賞 高野道忍さんの作品「秋色」

書道

書は読んで味わうものです。書体が正しくよく洗練されていること、書風が自分独自の世界をもっていることが大切です。表現がよくても字体が成熟していなければなりません。古典をベースとして、自分流の書風を作って欲しいと思います。

市長賞の作品

詩情をしっかりとおさえ、書情にのせてまとめた作。運筆のリズムも淡々として、骨格のある響きがある。落款も余白を生かし工夫した押印。

写真

技術の上手さは選考の基準としませんでした。デジタルが主流の時代は、撮影後の処理や取り直しが楽になり、写真の技術だけではおどろく事がなくなりました。被写体と今の時代をどう理解して、この写真で何を表現しようとしたのかなどを見て審査しました。

市長賞の作品

作者の想像力と生活の知恵を、みんなと楽しみながら写真にしたことが、とてもよく伝わりました。写真を撮るフットワークの軽さもよかったです。

彫塑・工芸

工芸は用と美を兼ねた古来からの伝統的な技術が源流となつて今に伝わっています。その伝統を現代の新しい技術の中で生かし地域に根づく文化や、この地ならではの作品と人材を発掘したと思います。多様な作品を観ますと、素晴らしい造形の息遣いを感じて大変嬉しく思いました。

市長賞の作品

緻密で丹念な技は、永い時間を掛けて造られた秀作です。このような作品は、この小千谷の地に永く残されると良いと思います。



彫塑・工芸の部 市長賞 末木定雄さんの作品「五重の塔」

洋画・版画の部

- 市長賞 / 田辺浩一 (芋坂)
- 新潟日報美術振興賞 / 関明一 (塩殿)
- 奨励賞 / 星野登喜治 (山寺)、根津一良 (十日町市)
- 佳作 / 高津正雄 (東栄1)、増川美一 (木津町)、吉川修 (長岡市)、目黒満 (魚沼市)

書道の部

- 市長賞 / 高野道忍 (川井本田)
- 新潟日報美術振興賞 / 谷口陽子 (上ノ山4)
- 奨励賞 / 長井洋子 (稻荷町)
- 佳作 / 金子功 (小栗田)、中林定子 (東栄1)

写真の部

- 市長賞 / 片岡慎太郎 (千谷)
- 新潟日報美術振興賞 / 瀬沼昭二 (日吉2)
- 奨励賞 / 田中かつ子 (山谷)、伊東孝 (稻荷町)、岡村義一 (十日町市)
- 佳作 / 沢口政弘 (城内3)、渡辺ツネ (信濃町)、篠田やよい (横渡)、和田均 (元中子)

彫塑・工芸の部

- 市長賞 / 末木定雄 (平成1)
- 新潟日報美術振興賞 / 土田和夫 (長岡市)
- 奨励賞 / 山口篤 (一之町一区)、黒崎剛 (四之町)
- 佳作 / 岩淵文子 (上ノ山5)、鈴木陽子 (桜町下)、横山智久 (平成2)、佐藤一枝 (本町1)

総合文化展入賞者 (敬称略)

菊花の部

- 市長賞 / 藤田澄子 (町中)
- 奨励賞 / 細貝直義 (東栄3)、山賀トミヨ (鴻巣町)
- 教育長賞 / 金沢久作 (信濃町)
- 公民館長賞 / 渡辺勇一 (千谷川2)
- 市議会議長賞 / 山賀ツヤ (鴻巣町)

おぢや健康福祉まつりが開催されました

第26回おぢや健康福祉まつりが開催されました。この健康福祉まつりは市内の保健、医療、福祉などの関係団体が協力して行っています。

10月5日(金)、市民会館で行われた「健康福祉まつり講演会」では、J-E-T 日本語学校理事でコメンテーターとしてテレビなどで活躍する金美齢さんが「生けとし生きるものへの応援歌」と題した講演をされ、聴講者は金さんの体験に基づくお話に聞き入っていました。

7日(日)は、総合体育館内でさまざまな体験コーナーや相談コーナーが設けられ、1983人の来場者があり大盛況となりました。また、同日は、サンラックおぢやで「福祉ふれあいフェスティバル」も開催され、1163人が会場を訪れました。

8日(祝)は、あいにくの雨となつてしまいましたが、第30回トリム・ウォーキング大会が行われ、189人の参加者が元気に13キロメートルのコースを歩きました。参加者にはおにぎりとお汁がふるまわれました。



市民会館で講演する金美齢さん



雨となったトリム・ウォーキング



大盛況の総合体育館のまつり会場



みんなで元気に介護予防体操



計ってみよう血圧測定



子どもたちに大人気保育園コーナー

牛の角突き復興のシンボル「割れた大岩」

愛称が「みまもり岩」に決定！



大岩の前でも愛称の募集をしました



南さん（写真左）とご家族～大岩の前で

小千谷闘牛場（小栗山）前の割れた大岩の愛称が、「みまもり岩」に決定しました。この大岩は、中越大震災の時に割れたもので、小千谷闘牛振興会が、牛の角突き復興のシンボルとして巨大な面綱をかけ、愛称を募集していました。

多数の応募の中から選考された愛称は、11月4日（日）に、小千谷闘牛場で開催された今年最後の牛の角突きのお披露目会に披露されました。

全国各地から寄せられた多数の愛称の中には、外国の方からの英語の愛称や、岩の大きさ・応募者の願い・牛に関係するものなどがありました。

小千谷闘牛振興会では、震災から3年目の10月23日（火）に役員会を開催し、多数の応募作品の中から、「震災を風化させず、地域の思いを表現するにふさわしい愛称」として、「みまもり岩」を選びました。この「みまもり岩」の愛称を応募した南真己子さん（寺沢）は、「この『みまもり』にはこの東山や地震で亡くなった3人の子どもたちを、そして災厄から『みまもって』ほしいと願いつけました。選ばれてびっくりしました」と話していました。

第47回全国農林水産祭参加 新潟県錦鯉品評会

新潟県錦鯉品評会が10月27日（土）・28日（日）の両日総合体育館コミュニティプラザで開かれました。

今年は、67の生産者から486点の出品がありました。家族連れや外国からの観客の姿も多く見かけられました。

市内からの全体総合優勝者などは次のとおりです。

全体総合優勝1席

TORAZO浦川養鯉場（浦柄）大正三色

全体総合優勝2席

大日養鯉場（株）（三仏生）大正三色

第65部優勝 深沢養鯉場（大崩）紅白

第55部優勝 鈴木清司（三仏生）昭和三色

第50部優勝 株宮石養鯉場（浦柄）大正三色

第45部優勝 篠田養鯉場（小栗山）ドイツ昭和

第35部優勝 長谷川光夫（城内4）昭和三色

第28部優勝 鈴木重男（三仏生）ドイツ三色





さようなら市民体育館

～スポーツフェスティバルを開催

10月21日(日)、第3回スポーツフェスティバルが、来年小千谷小学校建築のため取り壊される市民体育館で「さようなら市民体育館」と銘打ち開催されました。

このフェスティバルは、震災で被災した子どもたちを励まそうと3年前から、体育協会などが主催しているもので、この日は、スポーツ少年団12団体など約450人が参加しました。ソフトバレーボール、グラウンドゴルフ、大縄跳びの競技が行われ、保護者らの声援を受けながら、子どもたちは1日を楽しみました。



小千谷小学校開校140周年

日本で最初の公立小学校として創立された小千谷小学校の開校140周年記念式典が、10月7日(日)同校講堂で行われました。

式典では、児童たちが交代でステージに上がり、音楽や映像を交えながら、歌や踊り、明治元年10月1日に「振徳館」という名で始まった同校の歴史の再現劇などを通し、震災を乗り越え140周年を迎えた喜びと、新たな決意を発表していました。

また、翌週14日(日)には保護者を招いての記念児童発表も行われました。



がせん 長谷川雅宣作品展が開催されました

彫刻家長谷川雅宣作品展が、10月31日(水)から11月6日(火)まで市民会館で開催されました。

この作品展は平成16年に市制施行50周年記念事業として計画されましたが、中越大震災のためやむなく中止となったもので、今回、中越大震災復興祈念事業として、あらためて開催されました。

会場には、長い間、小千谷を制作の地とした雅宣の彫刻、石膏作品、デッサンなどが展示され、訪れた人たちは、名作の数々をのぞき込みながら、興味深そうに鑑賞していました。



スポーツの秋

～力走 池ヶ原クロスカントリー大会

10月14日(日)、秋晴れのもと旧池ヶ原小学校を会場として、第13回池ヶ原クロスカントリー大会が開催され、小学生から一般まで市内外から280人が参加しました。スタートした参加者は、この大会の名物となったトラクターの先導により、それぞれのペースで、秋を満喫しながら稲刈りの終わった田んぼ道を走り、心地よい汗を流しました。

大会終了後には、とん汁がふるまわれ、参加者はおいしそうに食べていました。



小千谷戊辰140年祭

～火坂雅志さんが記念講演

戊辰戦争から140年を記念し、10月28日(日)に市民会館で、作家の火坂雅志さんを招き講演会が開催されました。火坂さんは、武将直江兼続を主人公とした、平成20年NHK大河ドラマの原作「天地人」の作者として知られ、この日も「天地人を語る - 戦国の義将直江兼続」と題して講演いただきました。

時には、ユーモアを交えながら、聴く人をひきつける語り口で直江兼続の生涯などを話され、集まったおよそ350人は興味深く聴き入っていました。



小千谷学生寮50周年記念式典を開催

10月14日(日)、東京都杉並区にある小千谷学生寮の創立50周年を記念する式典がサンプラザで開かれました。学生寮は、昭和32年に「百年の計は人をつくるにあり」の理念で、都会で学ぶ小千谷出身の学生のために建設され、これまで400人以上が寮を巣立ち社会の第一線で活躍しています。また、杉並区との交流の拠点ともなっています。式典には、寮出身者や関係者など約120人が出席し再会を喜びあっていました。式典では、寮出身者から(財)小千谷奨学会への寄付金が、谷井市長に手渡されました。



震災復興記念～亀田鵬齋展が開催されました

江戸後期を代表する文人の1人、亀田鵬齋の書などを集めた震災復興記念の展覧会が10月27日(土)、28日(日)の2日間に渡りサンプラザで開催されました。

亀田鵬齋は良寛とも親交があり、その書の愛好家も多いということです。小千谷に滞在したこともあり、市内の寺院で書いた書を残しています。会場には、市内で書いた六曲屏風の書など100点以上が展示されました。来場者の中には鵬齋の出身地と言われる群馬県から訪れた人もあり、会場は観覧者で大盛況でした。27日(土)には、会場で新潟大学准教授の岡村鉄琴さんらによる鵬齋に関する講演も行われました。



駅前アーケードが完成しました

～パラソル市にぎわう

中越大震災により被害を受けた小千谷駅前のアーケードの新装工事が完了し、完成を記念するパラソル市が10月13日(土)に小千谷駅前で開催されました。

会場では、新米の餅つきや、そばの大食い大会、カラオケ発表会などが行われ、親子連れなど大勢の人出で賑わいました。

また、地元の農産物などの販売も行われ、訪れた人たちは、さわやかな秋の日射しのなか、買い物を楽しんでいました。

平成20年4月からはいじまる

「後期高齢者医療保険制度」って？（第4回）

「75歳以上の方の医療保険制度」が、来年4月から「後期高齢者医療制度」として新たにスタートします。このコーナーでは、制度のポイントをQ&Aでわかりやすく解説していきます。今回は、「保険料について」その1です。

Q 保険料の算定方法は？

A 保険料は、後期高齢者医療広域連合の議会で決定される県内均一の基準によって算定される予定です。

保険料は、被保険者の方の医療費のうち、医療機関窓口で支払う患者負担分を除いた1割をみなさんで負担するように算定されます。

1人当たりの保険料額は、被保険者が均等に負担する均等割額と、被保険者の所得に応じて決められる所得割額との合計額です。（賦課限度額も設けられます）

所得割額の算定は、被保険者の総所得（基礎控除後）に所得割率を乗じて行います。

Q 保険料はいくらになるの？

A 保険料額の通知は、平成20年4月に住所のある市町村からお届けします。

新潟県の保険料算定基準は、11月下旬に開催される広域連合議会で決定されます。それに基づいて個人の保険料額は算定され、その通知は来年4月にお届けすることになります。

（国が試算した保険料全国平均は、年208万円の年金収入の方で、月額6千200円と示されています。）

低所得の方には、世帯の所得水準に応じた保険料の軽減措置が設けられます。

一人当たりの
保険料額

均等割額
被保険者が均等に負担します

+

所得割額
被保険者の所得に応じて負担します

Q 保険料の支払い方法は？

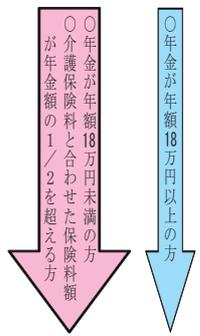
A 保険料の支払い方法は、介護保険料と同様に原則として年金から天引きになります。

年額18万円以上の年金を受けている方は、年金から天引きとなります。

ただし、年金が年額18万円未満の方や介護保険料と合わせた保険料額が年金額の2分の1を超える方については、市町村から送付される納付書や口座振替で納めることとなります。



被保険者



年金からの天引き
(特別徴収)

納付書または口座振替
(普通徴収)

問い合わせ / 市民生活課保険年金係 ☎83・3509

災害対策本部を解散

新潟県中越大震災小千谷市災害対策本部は、災害復旧事業が進み、応急仮設住宅入居者が全員退去されたことにより、10月31日午後5時に解散しました。

引き続き、復興推進本部を設置し復興に向け対応します。

問い合わせ / 総務課復興支援室 ☎83-3506

柏崎刈羽原子力発電所から地質調査のお知らせ

東京電力㈱では、陸域の広い範囲で地質調査を行います。地下調査の総延長は約100kmです。

調査目的

中越沖地震の発生を踏まえ、発電所の耐震安全性評価をしっかりと行っていくために、すでに実施している海域での調査に加え、発電所の敷地内を含む広い範囲で地下構造を把握することで、あらためて活断層を確認します。



調査に使用する起震車

なお、調査対象となる道路周辺にお住まいの皆様には、別途お知らせに伺います。ご理解と協力をお願いします。

調査方法

起震車を使用して地面（道路）に振動を与え、その振動の伝わり方をその周囲に設置した小さな地震計で測定し、地下の構造を調べます。

問い合わせ /

東京電力㈱柏崎刈羽原子力発電所 広報部 ☎0120・120448 (午前9時～午後5時)

こんにちは！市長です

(8)



山の木々が色づき、ひんやりした風が頬をなでる季節がやってくると、野山に出かけるのが楽しみとなります。

私が好きな西山々系遊歩道は、高低差と高い、所要時間と高い、また、途中の景色の良さと高い本当にすばらしいコースで、何回歩いても飽きることはありません。城山の頂上では全方位の展望が開け、運が良いと時には佐渡の鳥影を望むことも出来ます。城山の麓では、おいしい「ばば清水」の湧き水を味わうことも出来ます。

遊歩道は、毎年、地元町内会のみならず、さんによる草刈りが行われよく整備されています。その他にも、この道の愛好者と思われる方が、個人的に草刈りをして下さるようで、いつも歩きやすくなっています。多くの人たちの手で大事に守られています。

自然豊かな遊歩道ですが、時には不愉快な気分になることがあります。お菓子の包装物や、リングブルなどが捨てられているのです、新しいジュースの缶が落ちていたりすることもあります。子どもたちがうっかり落として行ったとも思いたいのですが、きらきら光るビールの空き缶まであるとなると、これは、分別をわきまえない大人が、わざと捨てて行ったもの

と思わざるを得ません。空き缶は持って帰るにはそんなに重たいものなのでしようか。自然の中で過ごすことを楽しみに来た人が、他人に迷惑をかけ不愉快な気分させるなど、なかなか理解できないことです。

同じような話を「おぢやまつり」の関係者からもお聞きしました。今年の祭りも、市民こそぞって盛大に楽しいものとなりましたが、反面、花火見物の場所に残されたゴミなどの後始末に、小学生を含めた多くの方々が大変な苦勞をされているとお聞きしました。他人に迷惑をかけないよう、いつも心がけている市民のまち小千谷であって欲しいと願っています。

(谷井 靖夫)



10月21日(日)、シルバー人材センターのみなさんから、ボランティアで船岡公園の清掃をしていただきました

作ってね！ この料理

里芋のスープ

材料(4人分)

里芋280g、玉ねぎ160g、ハム4枚、人参40g、牛乳400cc、塩・こしょう少々、サラダ油小さじ2、コンソメ1個

作り方

里芋と人参は、いちょう切りにする。ハムと玉ねぎは、せん切りにする。

鍋にサラダ油を熱し、ハム、玉ねぎを炒める。ひたひたの水を入れ、コンソメと里芋、人参を加えて煮る。

煮えたら牛乳を入れ、塩、こしょうで味を整える。

栄養価(1人分)

エネルギー189kcal、たんぱく質8.4g、脂質8.9g、塩分2.2g

(調理：小千谷市食生活改善推進委員)



乳幼児健診、予防接種の実施日には、先着順に番号札をお渡しします。
番号札配布開始時間 午前中に開催の場合 = 午前8時30分～、午後で開催の場合 = 正午～

うぶごえ教室

日時 / 12月12日(水) 午前9時～正午
対象 / 妊婦、1歳未満のこどもの母親など
会場 / 健康センター
内容 / 母乳育児と妊娠中、産後の過ごし方などについて・料理実習、会食交流会
持ち物 / 母子健康手帳、エプロン、三角布、お子さんの離乳食
無料
申込 / 12月7日(金)まで。お子さん、ご夫婦一緒でも参加できます。

AAグループミーティング

アルコール依存を正しく理解し、互いに話し合うことで断酒継続をしています。
対象者 / アルコール依存やお酒で体調をこわしている方、家族、友人
日時 / 毎週水・金曜日 午後7時30分～9時
会場 / 健康センター

献血バスゆうあい号の日程

みなさんのご協力をお願いします。
全血献血
日時 / 12月7日(金)午前9時30分～午後3時30分
会場 / (株)第一測範製作所



長岡地域三病院の「整形外科」診療体制の変更

現在、長岡地域の下記の3病院に患者が集中し、今後必要な医療が提供できなくなることが心配されるため、3病院の診療体制が変更されます。受診の際はご注意ください。

立川総合病院 (10月から実施中)

・新患、再来ともに完全予約制。電話予約の上での診療です。

・診療日 / 新患：月・水・金・土曜日 (第1・第3土曜日は休診) 再来：月・水・金曜日

長岡中央総合病院・長岡赤十字病院

・平成20年1月から新患患者は原則として紹介状をお持ちの方だけの診療となります。

・診療日 / 新患 (紹介状あり) : 月曜から土曜日 (第2・第4土曜日は休診)

再来 (原則予約制) : 月曜から金曜日

問い合わせ / 詳細は各病院にお問い合わせください。
立川総合病院 ☎33-3111、長岡中央総合病院 ☎35-3700、長岡赤十字病院 ☎28-3600

乳幼児の健康診査

会場は健康センターです

4か月児健康診査

日時 / 12月5日(水)午後1時～1時10分受付
対象 / 平成19年7月生まれ
持ち物 / バスタオル、母子健康手帳、替え用のオムツ
その他 / 離乳食講習会を同時実施



10か月児健康診査

日時 / 12月6日(木)午後1時～1時10分受付
対象 / 平成19年1月生まれ
持ち物 / 母子健康手帳、替え用のオムツ
その他 / 離乳食後期の講習会を同時実施

1歳6か月児健康診査

日時 / 12月13日(木)午後1時～1時20分受付
対象 / 平成18年5月生まれ
持ち物 / 母子健康手帳
その他 / 歯科検診を同時に行いますので、歯をみがいて来てください。

2歳児歯科検診

日時 / 12月11日(火)午前9時～9時10分受付
対象 / 平成17年11月生まれ
持ち物 / 母子健康手帳、お子さんのハブラシ
その他 / 幼児食講習会と歯科衛生士によるブラッシング指導があります。歯をみがいて来てください。



3歳児健康診査

日時 / 12月12日(水)午後1時～1時20分受付
対象 / 平成16年11月生まれ
持ち物 / 目と耳のアンケート、生活習慣アンケート、採尿した容器、母子健康手帳
その他 / 歯科検診も同時に行います。歯をみがいて来てください。

* 発熱など、普段と違う症状のあるお子さんは、翌月の健診日においでください。

健康 の情報



12月の予定

子宮頸がん検診・乳がん検診日程表 (40歳以上同時実施、20~38歳子宮がん検診のみ実施)

月日	受付時間	会場
12. 3(月) 12.10(月) 12.17(月)	13:00~13:10 14:00~14:10 子宮がんのみ受診される方は、14:00~14:10受付	小千谷総合病院
12. 3(月) 12. 7(金) 12.10(月) 12.14(金) 12.17(月)	12:30~12:50 子宮がんのみ受診される方は、14:30~14:45受付	魚沼病院
12. 4(火) 12. 7(金) 12.11(火)	9:00~12:30 15:00~17:30 20~38歳子宮がん検診のみ実施、金曜日は19:00まで受付	森平レディースクリニック

1年おきの検診となります。対象年齢の年度に、忘れずに受診してください。必ず個人通知が届いてから受診してください。指定された日をご都合の悪い場合は、申し込んだ医療機関の検診日程の中で、受診日を変更して受診してください。

子宮頸がん検診

対象 / 20歳以上の女性で、平成20年4月1日までに偶数年齢になる方(隔年検診)
料金 / 1,000円、70歳以上の方 無料

乳がん検診(マンモグラフィ・視触診併用検診)

対象 / 40歳以上の女性で平成20年4月1日までに偶数年齢になる方(隔年検診)
料金 / 40~48歳 1,400円(X線写真を4枚撮影)
50~68歳 1,000円(X線写真を2枚撮影)、70歳以上の方 無料(X線写真を2枚撮影)
その他 /

対象年齢で申し込みをされていないで、検診を希望される方は、健康センターへご連絡ください。(11~12月の予定)

手術で子宮、乳房を摘出した、豊胸手術を受けた、子宮、乳房の病気で通院中の方は、集団検診は受けられません。引き続き病院で診療を受けてください。

各種検診のご案内

指定された日時、会場で受診できない方は、都合のよい会場で受けてください。受診通知書が届いていない方で、受診を希望する方は、健康センターにご連絡ください。

胃集団検診日程表

対象地区	月日	受付時間	会場
城川地区、千田地区、川井地区、東山地区、本町、平成1丁目、日吉、船岡、元町、栄町、五辺、高梨、山本、西中、上片貝、大崩、池之平	12. 6(木)	8:30~11:00	健康センター
吉谷地区(二俣、迹入を除く)、谷内		8:30~ 9:30	吉谷トレーニングセンター
片貝地区(五辺、高梨を除く)		9:00~10:30	片貝総合センター
上ノ山、土川、稲荷町、平成2丁目	12.13(木)	8:30~11:00	市民会館
城川地区、千田地区、川井地区、東山地区、本町、平成1丁目、日吉、船岡、元町、栄町、五辺、高梨、山本、西中、上片貝、大崩、池之平			健康センター
東小千谷地区、横浦地区	12.14(金)		白寿荘

胃集団検診

対象 / 40歳以上の方
料金 / 1,000円(70歳以上の方は無料)
大腸がん検診を希望する方は、胃検診会場で申し込みください。容器を、配布します。



心の健康相談

心が沈みがち、元気が出ない、眠れない、アルコール依存、家庭内暴力などでお困りの方の相談を精神科医師がお受けします。

日時 / 12月18日(火)
午後1時30分~3時
会場 / 健康センター
申込締切 / 12月17日(月)



よみかせ講座

図書館 ☎82-2724

ボランティアで図書館や地域、学校で絵本の読み聞かせなどを行いたい方を対象に、講座を開催します。これから始めてみたい方、もう一度基礎を学んでみたい方、興味がある方、ぜひご参加ください。

日時 / 12月1日(土)、12月8日(土)
午後1時30分～3時30分(原則として2回出席してください)

会場 / 市民会館2階 中会議室・和室

内容 / 読み聞かせの心得、本の選び方、実技指導など

講師 / 八木久恵さん(南魚沼市立図書館ボランティア)

定員 / 30人

申込 / 11月25日(日)までに図書館へ

文学講座

図書館 ☎82-2724

日時 / 11月29日(木)、12月6日(木)、12月13日(木)

午後7時～

8時30分

会場 / 市民会館

内容 / 芭蕉の文芸

とその思想―評論を中心として―

講師 /

山本清さん(元市立図書館長)

定員 / 約30人

申込 / 11月22日(木)までに図書館へ



市民芸能まつり

市内の芸能団体が出演します。ぜひご覧ください。

日時 / 11月25日(日)正午開演

会場 / 市民会館大ホール

入場無料

出演団体 /

第1部： 富久寿大学民踊クラブ 吉谷長命会

芸能部 木津年長組 YOSAKOIチーム城内

悦美会 扇秀会 南雲フラサークル 秀光会

スイミングアカデミーキッズクルー

第2部： らんの会 アンサンブルすばるの会 片貝民踊の会 樫若

美鈴会 扇の会 藤和会 8&Pスクール 千谷民踊の会 藤小会

第3部： なごみ会 秀桜会 瑠美の会 小雪会 松崎会小千谷支部

穂波会 越後おぢや相撲甚句会 岩沢愛友会 深雪会

問い合わせ / 公民館 ☎82-9111



ジャズコンサート

音楽活動55周年記念ライブ

“松岡直也&和田アキラB.F.Unit”

～互いに活動を続ける自身のグループとは異なったワン&オンリーな世界を創ろうと2006年に結成した“松岡直也&和田アキラB.F.Unit”。研ぎ澄まされた感性を持ち合わせた2人のアーティストと強力かつ繊細なグルーブを生み出し支えてくれる、ゲタ夫、フランス、タッピーの3人から創り出される、ジャンルを越えた新たなサウンド～

期日 / 12月8日(土)

時間 / 午後6時開場、午後6時30分開演

会場 / サンプラザ大ホール

出演 / ピアノ：松岡直也、ギター：和田アキラ、ベース：高橋ゲタ

夫、パーカッション：フランス・シルヴァ、ドラム：岩瀬立飛

チケット / 前売4,300円、当日5,000円

主催 / ジャズコンサートインおぢや

共催 / 市教育委員会

問い合わせ / 事務局(横民) ☎82-3860、市民会館 ☎82-9111、

サンプラザ ☎83-4800

取り付けましたか？

住宅用火災警報器！

新築住宅は平成18年6月1日から設置が義務付けられています。既存住宅は平成23年5月31日までに設置しなければなりません。

住宅用火災警報器とは、火災で発生した煙を感知し、音や音声で火災発生を知らせてくれる警報器です。

住宅用火災警報器の設置場所は、すべての寝室・階段の天井または壁に取り付けます。詳しくは消防本部予防課にお尋ねください。

設置する住宅用火災警報器 / 煙感知式のものを設置してください。台所に設置義務はありませんが、任意で設置される場合は熱感知式のものを設置してください。

住宅用火災警報器の必要性 / 住宅火災による死者のうち63・1%が逃げ遅れによるものです。(平成17年全国数値) 住宅用火災警報器は火災発生をいち早く知らせ、あなたや家族の命を火災による死亡から守ってくれます。住宅用火災警報器を早めに設置しましょう。

問い合わせ / 消防本部予防課 ☎83・0238

農業所得収支計算説明会

農業所得申告のための説明会を開催します。

開催日程 / 下記の日程表のとおり。

農業所得者収支計算説明会日程

対象地区	月日	受付時間	会場
片貝、高梨、五辺	11.20(火)	14:00~16:00	片貝総合センター
西小千谷、東小千谷、 山本、西中、谷内	11.21(水)	9:30~11:30	サンラックおぢや
真人		14:00~16:00	
千谷川、城内、時水、池ヶ原、 池中新田、塩殿、上片貝	11.22(木)	9:30~11:30	
吉谷、東山、横浦		14:00~16:00	
小栗田、岩沢	11.26(月)	9:30~11:30	
桜町、山谷		14:00~16:00	
両新田、藪川、平沢、 若葉、坪野(下)、川井	11.27(火)	9:30~11:30	
千谷、三仏生		14:00~16:00	

講師 / 小千谷税務署国税調査官、市税務課市民税担当職員

持ち物 / 筆記用具、電卓

その他 / 1回の所要時間は2時間程度です。

問い合わせ / JA越後おぢや ☎83-3424、小千谷税務署 ☎83-2093、
税務課市民税係 ☎83-3508

ホットプラザ祭

勤労青少年ホーム ☎82-8510

日時 / 11月25日(日)午前10時~午後3時

会場 / 勤労青少年ホーム、東小千谷体育センター

内容 / ホーム利用者による茶席、生花・フラワーアレンジメント展示、模擬店、軽食喫茶、フリーマーケットなど

フリーマーケット出店者募集

勤労青少年ホーム ☎82-8510

ホットプラザ祭のフリーマーケット出店者を募集します。

日時 / 11月25日(日)午前10時~午後3時

会場 / 東小千谷体育センター

出店料 / 無料

区画面積 / 畳4畳程度

出店申込 / 11月22日(木)午後5時までに勤労青少年ホームへ

人権擁護委員に井口 勗^{つとむ}さんを再任

10月1日付けで、井口勗さん(千谷川一丁目)が法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。

現在、市内には3人の人権擁護委員の方がいます。近隣のいやがらせ、名誉、信用の侵害、いじめ、親族間のもめごとなど心配事やお困りの相談(人権問題に関すること)を人権擁護委員がお受けします。相談は無料で、秘密は堅く守られます。お気軽にご相談ください。

井口勗さん(千谷川一丁目) ☎82-5633 大矢忠雄さん(川井本田) ☎89-2539 大矢光子さん(一之町二区) ☎84-3013

問い合わせ/市民生活課 ☎83-3509

12月のおはなし会

図書館 ☎82-2724

ボランティアグループによる12月のおはなし会です。

毎週火曜日 午後3時30分~4時

12月4日、11日、18日、25日

第3日曜日 午後2時~2時30分

12月16日

会場 / 図書館1階おはなしの部屋

市税等の納期限

11月30日(金)

固定資産税・都市計画税
(第3期)

国民健康保険税(11月分)
介護保険料(11月分)

課 ☎83・0238

問い合わせ/消防本部予防

課 ☎83・0238

ます。

自分で取り付けることができ

ます。

センターや電気店で購入でき

ます。

住宅用火災警報器はホーム

センターや電気店で購入でき

ます。

前に消防本部予防課に問い合

わせてください。

代金を払う前、サインをする

ます。

だ金を払う前、サインをする

ます。

だ金を払う前、サインをする

ます。

だ金を払う前、サインをする

ます。

悪質な高額訪問販売に
ご注意ください!

スポーツクラブ啓発フォーラム

体育協会事務局 ☎83-0077

『総合型地域スポーツクラブって何?』総合型地域スポーツクラブ啓発フォーラムを開催します。参加して話を聞いてみませんか?

内容 /

講演:「なぜ今、総合型なのか」
西原康行さん(新潟医療福祉大学)
意見交換(質疑応答)

日時 / 11月29日(木)午後6時30分
~ 9時

会場 / サンラックおぢや

参加無料

申込不要

問い合わせ / 体育協会事務局(総合体育館内)へ

子育てイベント

わんパーク ☎81-7564

人形劇団ミックスピ座のみなさんによる楽しい表情人形劇「おおきなかぶ」です。おなじみのお話に加え手遊び、ハンドダンス、パネルシアターなど盛りだくさん。お誘いあわせておいでください。

日時 / 12月1日(土)午前10時30分
~ 11時15分

会場 / わんパーク

申込不要

富久寿大学作品展・発表会

公民館 ☎82-9111

学級生が日ごろの学習・クラブ活動の成果を披露します。ぜひ、ご覧ください。

日時 / 11月27日(火)

クラブ作品展: 午前9時~午後3時(書道、手芸、水墨画、文芸、陶芸)

クラブ発表会: 午後0時30分~3時(詩吟、民謡、民踊、ハ・モニカ、社交ダンス)

会場 / 市民会館

入場無料

「SOS雪おろし」

…あなたの雪おろしをお手伝いします 雪おろし支援活動希望者を募集

市では、市民の雪おろしの支援として「雪おろし支援活動(SOS雪おろし)」を実施します。

この制度は豪雪時を含め常にスムーズに雪おろし作業が行えるよう、市民と市が協力して雪おろしを行う人を募り、雪おろしでお困りの方への紹介サービスを行うものです。

対象者 / 雪おろしを希望する個人

(申し込みは、町内会長・民生委員や隣人など代理の方でも構いません)

申し込みが多数あった場合、作業開始まで時間をいただくことがあります。また、親戚、知人などの協力を得られる方のご利用は、ご遠慮願います。

対象家屋 / 市内にある個人所有の住宅など(事業所や店舗など法人所有の建物は除きます)

屋根に滑り止めがないなど、状況が危険な家屋については、事故防止のため、対象外とさせていただきます。

申込方法 /

通年希望者(冬季間の雪おろし全てをあらかじめ依頼したい方)

申込書に必要事項を記入して、12月10日(月)までにお申込みください。(申込書は、建設課、支所、連絡所にあります。)

随時希望者(1回ごとの雪おろしを依頼したい方)

希望する際に、建設課へお申し込みください。(電話可)

作業までの確認事項など

通年希望者

担当する雪おろし作業者が事前にお伺いします。日程や作業代金などの打ち合わせを行います。

随時希望者

建設課で雪おろし作業を行う方を紹介します。原則として各自で選んでいただきますが、市が代理で依頼することもできます。申し込みの際にご相談ください。

作業代金

作業代金は全額希望者の負担となります。

金額と支払方法は希望者と雪おろし作業を行う方で話し合ってください。

この制度では、一定の作業代金は定めておりませんが、豪雪時などにおいても作業代金が高騰しないよう上限金額を定めています。作業を行う方1人1日当り16,000円、1時間当り2,000円です。

高齢福祉課、社会福祉協議会で行う低所得者除雪援助事業の対象となる方は、申し込みの時にお申し出ください。

問い合わせ / 建設課克雪係 ☎83-3514



お知らせ

Information

小千谷市役所 ☎83・3511(代)
http://www.city.ojiya.niigata.jp/

ちぢみの里の利用券が当たる
広報クイズ 解答をはがきでお送りください。
 正解者の中から、抽選で3人に
 ちぢみの里の利用券を贈呈します。
 市報おぢやの感想もあると担当は
 うれしいのですが...

問題 10月23日夜、
 小千谷青年会議所によ
 る「結びの灯」でたく
 さんの灯ろうが灯され
 ました。灯ろうは何個
 あったでしょうか。



約3,500個 約4,500個
 約5,500個

(ヒントは6ページ)

応募先 〒947-8501小千谷市役所総務
 課広報聴係あて(住所不要)

締切 11月22日(当日消印有効)
 10月号の答えは、ベビーでした。
 抽選の結果次の方が当選しました。
 小宮山幸恵さん、岡信行さん
 久保田紀伊子さん

人口と世帯数(10月31日現在)

男	19,766人	前月比	-6	出生	33人
女	20,268人	前月比	+16	死亡	46人
合計	40,034人	前月比	+10	転入	87人
世帯数	12,360世帯	前月比	+16	転出	64人

事故発生状況(10月31日現在)

	19年10月まで	18年10月まで
件数	134件	158件
死者	1人	1人
傷者	166人	206人

消防本部出動状況(10月31日現在)

	19年10月まで	18年10月まで
火災	16件	14件
救急	1,199件	1,164件

気象データ10月

	19年10月	過去10年の平均
平均気温	15.2	15.4
最高気温	26.4	28.5
最低気温	5.9	4.5
降水量月計	170.5mm	155.3mm

小千谷地域消防本部速報値

低所得高齢者世帯などの除雪援助事業

自力での除雪が困難な高齢者世帯などについて、除雪賃金の援助をします。

援助の対象 / 現在住んでいる住宅の雪おろしや落雪式屋根から落下した雪の処理

手続き / 希望する世帯は、所定の申請書を民生委員を通じて提出してください。申請書受付後に審査を行い、対象世帯の決定、登録をします。

除雪賃金は、除雪作業を行った方に支払います。ただし、限度額を超えた場合は、超過分を対象世帯から作業員に直接支払っていただきます。

高齢者世帯

- ・65歳以上の方のみの世帯(60歳以上、65歳未満の方で、介護保険の要支援1以上の認定を受けている方を含みます)
- ・60歳以上の方のみの世帯であって、そのうち3か月以上ねたきりの状態が続いている方がいる世帯
- 高齢者と障がい者の世帯
- ・65歳以上の方と次のいずれかの方のみで構成されている世帯
 - 身体障害者手帳の1～4級をお持ちの方
 - 精神障害者保健福祉手帳の1～3級をお持ちの方
 - 療育手帳のAをお持ちの方

高齢者と児童の世帯

- ・65歳以上の方と中学生以下の子どもだけの世帯
- 援助する限度額 /
- ・1世帯につき冬季間32,000円(ただし山間地は48,000円)
- 個人負担 / 市が支払った金額の1割
- 申請先 / 高齢福祉課 ☎83-4060

母子世帯

- ・配偶者のいない女子と中学生以下の子どもだけの世帯
- 身体障がい者世帯
- ・世帯主が身体障害者手帳の1～4級をお持ちの世帯
- その他の世帯
- ・世帯主が知的障がい者、精神障がい者などの要援護世帯であって上記に準ずる世帯
- 援助する限度額 /
- ・1世帯につき冬季間28,800円(ただし山間地は43,200円)
- 個人負担 / なし
- 申請先 / 社会福祉協議会(サンラックおぢや内) ☎83-2340

いずれの世帯とも、次に該当する場合は対象となりません。

- ・健康で自力による除雪が可能な世帯
- ・市民税課税世帯
- ・親族から労力または経済的援助が受けられる世帯
- ・生活保護世帯
- ・空き家になっている家屋



小千谷を描く No.331 セイタカアワダチ草咲く土手

遠くに千田中学校が見える圃場の用水路の土手に、黄色の花のセイタカアワダチ草が繁茂していました。北米原産の帰化植物で生命力が強くススキでさえ負けてしまうので、日本の植物相が変わり「セイタカアワダチ草咲く美しい日本」てなこと言いだす人がでてくると嫌ですね。魚や動物でも、ブラックバスやアライグマが日本に定住し増えています。そのうちに「裏の柿をキリンが食べた」「肉屋さんの前でライオンがよだれをたらしていた」なんてことはありませんよね。

(絵と文は西脇正久さん)

表紙

10月21日(日)、平成の商店街イベントが行われました。天候にも恵まれ、大勢の人が訪れていました。

災害ボランティア団体のデモンストレーションでは鉄パイプの切断や丸太切りなどが披露され、小型重機の試乗体験では子どもたちは間近で見る機械に目を輝かせながら、そして真剣にレバーを操作していました。

編集後記

中越大震災から3年目を迎えた10月は、市内でも多くの復興祈念の行事が行われ取材に出かけました。

取材に訪れたどの会場でも感じたのが、3年前のあの時の支援に対する「ありがとう」の心と復興への誓いの気持ちでした。そんな気持ちが伝わるようにカメラのシャッターを切りました。小千谷の市民の優しさを感じた1か月でした。